

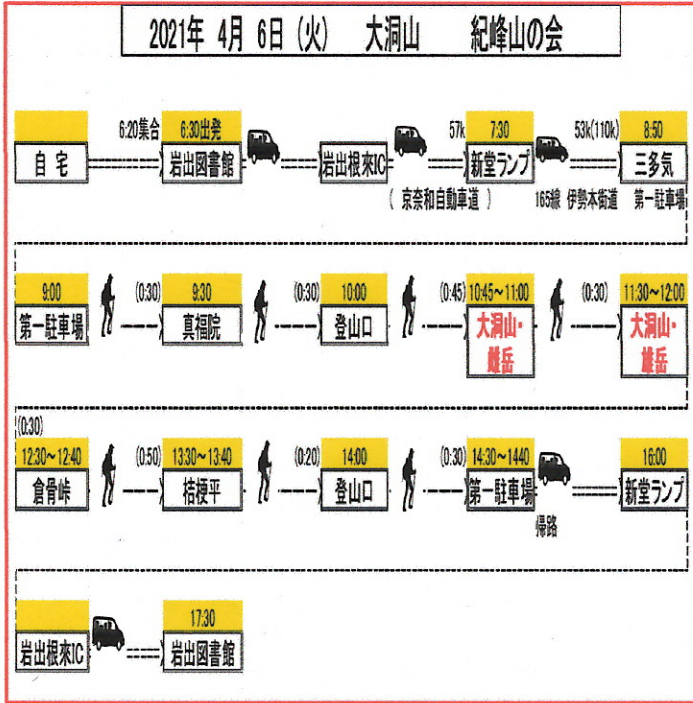
大洞山

(雌岳 985m・雄岳 1013m)

※山行日 ----- 2021年4月 6日(火)

※メンバー ----- 計7名
(弥生班4名、他班2名、会員外1名)

※行程(予定)



※行程(結果)

(往路---車移動)

- 岩出図書館 (出発) 6:30
- 三重県三多気駐車場 (到着) 8:50

(山行)

- ① 三多気駐車場 ----- 9:00
- ② 真福院 ----- 9:30
- ③ 登山口 ----- 10:00
- ④ 大洞山 雌岳 (985m) ----- 10:50
- ⑤ 大洞山 雄岳(1013m) ----- 11:30

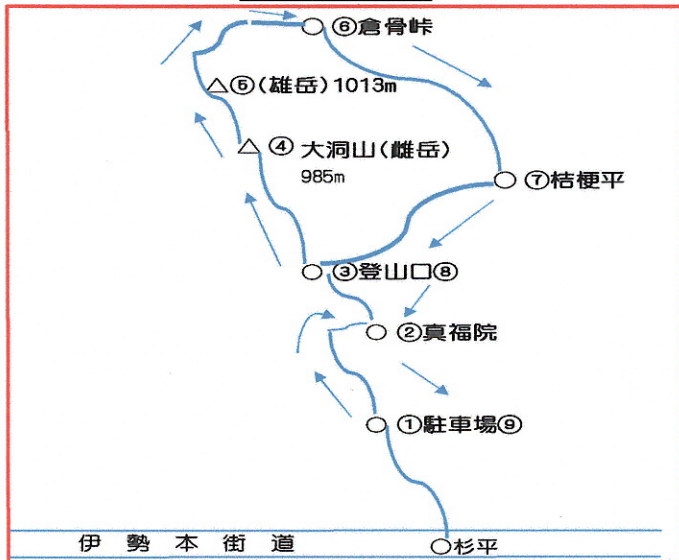
昼食

- ⑥ 倉骨峠 ----- 13:10
- ⑦ 桔梗平 ----- 14:15
- ⑧ 登山口 ----- 15:00
- ⑨ 三多気駐車場 ----- 15:30

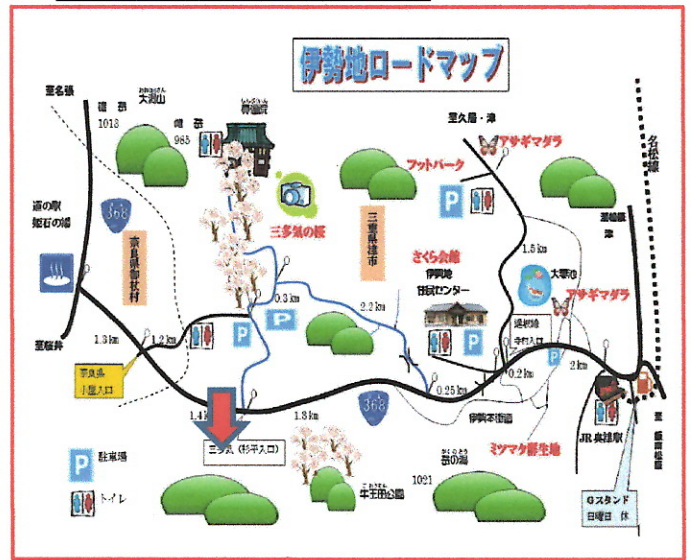
(帰路---車移動)

- 三重県三多気駐車場 (出発) 15:40
- 岩出図書館 (到着) 18:30

(山行ルート)



(三多気の桜ロードマップ)



(はじめに)

※春爛漫の季節を迎え、心もうきうきと山行には最高の季節。先月は嶽の森山の「熊野桜」と比叡山の「太閤桜」(前回の山行記録 参照)を觀賞しました。今回は、桜の觀賞シリーズ第三回目として、「三多気の桜」を目的に大洞山へ行ってきました。

(参考)

※三多気の桜は、伊勢本街道から真福院の参道、約1.5 km に及ぶ二千本の山桜の並木道。水の張られた水田に美しく映り込む山桜の撮影スポット。この桜並木は国の名勝にも指定されており「日本さくら名所100選」にも選定されているとのこと。

(写真1) (三多気駐車場前)



(写真1・2の解説)

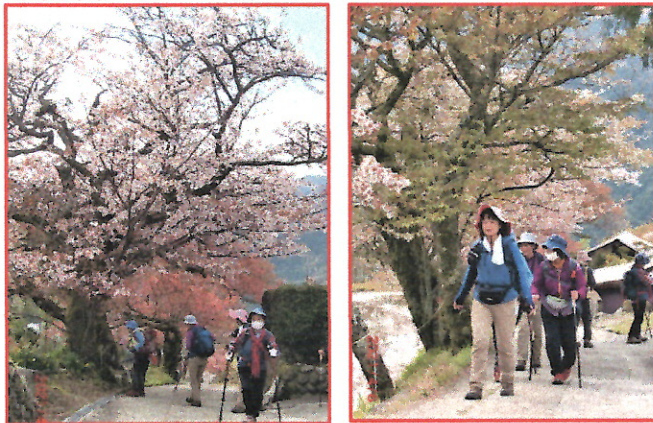
(8:50)

- ・昨日の雨が気になったが、本日は肌寒いが晴天あり、「三多気の桜」に期待が膨らむ。早朝に岩出図書館前をいつものKさんの車で出発。
- ・本日は他班からの参加もあり、女7人男1人となる。私としては気恥しさとなる山行である。
- ・しかし、皆さんは行動力があり口達者なメンバーのため、楽しく盛り上がるに違いない…?
- ・予定通り現地につくと駐車場には既に10台程度があった。コロナ禍で桜祭りの中止の看板があったが、誘導員は配置されていた。
- ・まずは、駐車場前から大洞山をバックに記念撮影。
(しまった……本日は会の旗を忘れた!!)

(写真2)



(写真3) (真福院までの参道)



(写真4)



(写真5) (撮影スポット)



(写真3・4の解説)

- ・真福院の参道の約1.5 kmは桜並木。今年は全国的に開花が早いですが、ここは満開、散りはじめ、葉桜と場所ごとに変化がありました。(中には姥桜が……?)
- ・桜まつりは中止とのことであるが、花見客と大洞山への登山客は思った以上にあった。

(写真5の解説)

- ・水田に美しく映り込む桜の撮影スポット。早朝から、大きなカメラを持ったカメラマンが数名、待機していました。
- ・桜の色合い、バックの山、水田に映る逆さ桜、感動的であり、「日本さくら名所100選」に選ばれるはずだ――

(写真6) (撮影スポット)



(写真6の解説)

(9:30)

- ・桜並木が過ぎると、「**真福院**」に到着。石段の参道でハイ、ポーズ。
- ・大きな杉の木、その上には真っ赤な門が見える。

(写真7) (撮影スポット)



(写真7の解説)

- ・本堂の前には、鮮やかな花が……つつじの一種かな?
- ・記念撮影の後、山行の安全祈願を実施。

(参考)

- ・真福院は真言宗醍醐派に属する古刹で、創建は白鳳時代(670年頃)と伝わります。平安時代には、在原業平、平清盛らが参詣したと伝えられる——と解説がありました。

(写真8) (真福院の境内から登山口へ)



- ・真福院の境内を抜けると登山口に続く道がある。まずは雌岳を目指して頑張ろう!!

(写真9) (大洞山の登山口)



- ・(10:00) 最初は整備されたなだらかな道を快適に……

(写真10) (雌岳を目指して一)



(余談)

- ・年配のKさんの登山靴が新しく新調しており、別のKさんと同じもので、靴もバックも、おまけに名前まで同じ(和代)、イニシャルもK,Kであった。すると年配のKさんは、「私が先に生まれているのだから、あんたが真似したんだ」と冗談か、女の闘いか知らないが……やはり、口達者なメンバーで盛り上がる?

・その後は急登が続き、足取りは重くバテ気味

(写真 11) (大洞山・雌岳 985m)



・(10:45)急登で足が重く、足より口(声)が先に進んでいたが、ようやく雌岳に登頂。

(写真 12) (雄岳に向かう)



・小休憩後、雄岳に向かう。お腹が空いていたが次はランチタイムなので、急ぎ足に…

(写真 13) (大洞山・雄岳 1013m)



・(11:30)やっと雄岳に登頂。展望がよく爽快感がある。

(写真 14) (大洞山・雌岳)



・口達者な美女(昔は…)とは、一線画して一人撮影にしておこう。

(写真 15) (雌岳でランチタイム-1)

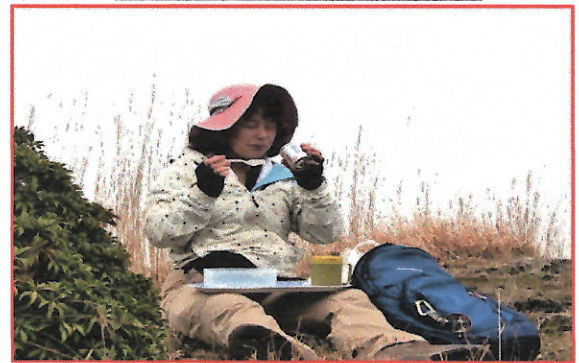


(写真 17) (雌岳でランチタイム-3)



・よん食べて

(写真 16) (雌岳でランチタイム-2)



(写真 18) (雌岳でランチタイム-4)



・よく喋って、楽しいランチタイムです。

(写真 19) (倉骨峠 13:10)



- 雄岳から倉骨峠に向かうも途中に標識がなく尼ヶ岳への間違ったルートに行きかけた。早めに気が付き、地図とスマホで確認し、正規ルートに引き返した。そのため予定より若干の遅れとなる。

----- (現地にあった植物) -----

※石畳の周辺は、色々な植物が群生していた。今回参加の Q さんは植物に詳しく、歩行中、珍しい植物を見つけて、解説してくれました。

(写真 21) (ヒトリシズカ)



- 森林の湿った場所に見られる多年草。数本の茎を伸ばして株立ちになり、長さ 2~3cm の白いブラシのような形の花が、4 枚の若葉に包まれて開花する。

(写真 23) (猫の目草)



- 山地の湿地に生え 4 月頃開花。目立たない黄色い花のあとで実ができる。実は深く細く裂けた形になり、その様子が猫がうす目をあけているように見えることから「猫の目草」になっらしい。

(写真 20) (苔の石畳)



- 倉骨峠からは、東海自然歩道を歩く。霧困気が変わり、石畳と苔の岩が神秘的で不思議な空間。マイナスイオンを感じるパワースポットでした。

----- (現地にあった植物) -----

※現地にあった植物を撮影しましたので、ネットから調べた解説を掲載します。

(写真 22) (ハシリドコロ)



- 山間の日陰などの湿った木陰に群生すし全長は 40~ 50 cm 程度に成長する。花期は 4 月から 5 月。釣鐘状の暗紫紅色の花を咲かせる。毒性があり食べると錯乱して走り回るとか？

(写真 24) (みやまかたばみ)



- クローバー状の三枚の葉は紋章にあるくらい。4~5 月に端整で美しい花径 3~4cm 位の白い花が横向きに咲く。花に薄い筋があり暗い林の中で、ほの白く見える

(写真 25) (尼ヶ岳をバックに)



- ・石畳から桔梗平を過ぎると、平坦な道であり、芝生やログハウスと一気に明るい雰囲気となる。
- 展望が開け尼ヶ岳をバックに笑顔がこぼれる

(写真 26) (同じく尼ヶ岳をバックに)



- ・ここでも一線を画し、一人撮影。

(写真 27) (東屋で小休止)



- ・下山のアプローチは意外と長く疲れた。

(写真 28) (櫻並木を下山)



- ・桜が綺麗だ。姥桜も…さあ～ラストスパート

(写真 29) (三多気で一番大きい桜 ?)



- ・本日観賞した一番大きい桜。大きさと美しさ、コントラスト、思わずシャッターを押す。

※・今回の山行の目的、テーマは「大洞山登頂と、三多気桜の観賞」でした。

和歌山市内では葉桜の時期でしたが、現地の三多気は奥広く、ちょうど良い時期にあたりました。

また、植物博士のOさんのお陰で、沢山の植物と出会い、新しい発見ができました。

・大洞山は展望がよく、俱留尊山や遠くの峰が眼下に広がり爽快感があった。

途中、ルートの間違え全体で1時間遅れとなり反省点はあるが、桜の季節を満喫し、楽しい山行であった。